



6月12日(木)

## 学校は人を育てるところ

学校教育が始まって150年以上が経ち、これからの予測の難しい時代を生きていく子どもたちに求められる資質・能力を育成するために、教育の果たす役割はますます重要になっています。今回の研修では、小倉 貴志 教育次長から『この仕事を選んだ皆様へ』という題目で、初任者の教職員を対象に講演をしていただきました。

「学校教育は子どもたち全員に幸せになってもらうためにある」という教育次長の思いと共に、これまでの日本の学校教育の変遷や子どもたちの生活の多くに関わる教職員としてどんな力が必要なのか、教員という仕事を通してどんな自分になっていきたいのかなど、グループワークを交えながら進められました。研修生は仕事の理想と現実のギャップやこれまでの悩み、喜びなどを共有すると、共感の声や笑顔があふれ、話が尽きないようでした。

この研修を通して、学校は子どもたちだけでなく、教職員も多くの人と出会い、関わっていく中で、様々な経験を積み、人として育っていく場なのだということを感じました。

研修生の方々のますますの活躍を心から期待しています。

【教育センター】



- (1) 経済成長
- (2) 貿易自由
- (3) 途上国支援

